



# ほほえみ



## いじめゼロ子どもサミット2025開催 令和7年5月27日（火）小山市立文化センター小ホール



市内小・中・義務教育学校の代表児童生徒が集い、主体的な話し合いを通して、いじめのない明るく笑顔あふれる学校にしていくことを目指して「いじめゼロ子どもサミット2025」を開催しました。  
 今年は「誰もが自分らしく安心して生活できる学校を目指して～いじりについて考えてみよう～」のテーマのもと、話し合いました。

### 児童生徒の感想（一部紹介）

「いじり」なら大丈夫という思いを自分以外にも多くの人が持っていたと思います。いくらいじりたいだけでも、いじられる人が嫌だと思えば、それはもういじめになってしまうということが新たな気づきでした。

また、いじる人いじられる人以外でも、周りの人が積極的にいじりに対してよくないと声掛けをすることが大切であることをサミットで学ぶことができました。

積極的に声を掛ける雰囲気をつくることで、本当の気持ちを言えるようになると思ったので、この考えを学校で広めていきたいと思います。



## 人権 Topic

### 「女らしさ」「男らしさ」って何？



平日の朝は毎日、あわただしい。ある朝のこと……

母、晴香（中2）、賢二（中1）

母：晴香！すごく寝ぐせ。女の子なんだから、ちょっとはきれいにしたら？

晴香：うるさいなあ。寝坊しちゃうんだから、しょうがないでしょ。もう行かなきゃ。行ってきまーす！

母：賢二、男のくせにいつまで洗面所にもっているの。髪なんか、いくらいじったって同じよ。さっさと行きなさい。

賢二：もう、わかったよー。行ってきまーす！

晴香：いつもいつも「もっと女の子らしくできないの？」とか、ほんとううるさいんだから。

賢二：オレなんか、今日も早めに起きて用意したら、「男のくせに鏡ばかり向かって」だって。

きちんとしたいだけなんだけどなあ。

晴香：そうそう。この前も「女の子なんだから、自分の部屋ぐらいちゃんと片付けなさい」とかうるさい。

賢二：あ、オレも。「いつまでもくよくよして、男らしくないよ」だって。

何かっていうと「男なんだから」って決めつけるの、やめてほしいよ。

晴香：「女だからこうこう」「男だからこうこう」って、だれが決めたんだろうね。

家事を手伝ったり、人に親切にしたりすることは、男女を問わず、人として大切なことです。それなのに、性別で期待される役割が違ったり、注意されたりするのはなぜでしょう。実は、こうした「女はこうあるべき」「男はこうあるべき」という考え方は、社会や文化の中でつくられたものであり、生まれ持った特性ではありません。私たちは、だれもが多様な個性を持った一人の人間として生きています。一人一人の性格や得意なことが異なるのは、その人らしい個性なのです。

小山市男女共同参画啓発誌『みらい』より一部抜粋

### 『第45回人権講演会』のお知らせ

■日時：令和7年8月19日（火）12:45 開場 13:30 開演 15:10 終演

■場所：小山市立文化センター大ホール 入場無料

■演題：『橋はかかる～差別のない世の中を目指して～』

■講師：村崎 太郎（猿まわし師）

※お車で越えの際、小山一小的校庭へ駐車願います。また、駐車場の台数には限りがございます。できるだけ公共交通機関を御利用ください。 問合せ先 人権・男女共同参画課 TEL22-9292

